



## 2月8日(水)から 証明書コンビニ交付サービス開始

市では、市民の皆さんの利便性を高めるため、休日、早朝・夜間でも、住民票の写しなどの証明書が全国のコンビニエンスストアで取得できるサービスを開始します。マイナンバーカード(個人番号カード)を使用して、全国のコンビニエンスストアなどに設置されているマルチコピー機を操作することで、必要な証明書が取得できるようになります。

サービス開始日時＝2月8日(水)6時30分から

利用可能時間＝6時30分～23時 ※12月29日～1月3日を除く

取得できる証明書＝

①住民票の写し ②印鑑登録証明書 ③所得・課税証明書

手数料＝上記①～③いずれも1通200円

※市役所窓口・公共施設にある証明書自動交付機では1通300円

利用に必要なカード＝マイナンバーカード

※個人番号通知カード、さんだシティカード、住民基本台帳カードでは利用できません。

利用店舗＝店舗内に証明書を交付するマルチコピー機が設置されている全国のコンビニエンスストア(セブン-イレブン、ローソン、ファミリーマート、サークルKサンクス、ミニストップなど)

※機器が未導入の店舗もありますのでご注意ください。

収納事務の委託＝コンビニ交付手数料の収納事務については、地方公共団体情報システム機構に委託しています。

問い合わせ＝市民課個人番号カード交付担当(559-5106 FAX 559-5114)

### マイナンバーカードを持っていますか？

コンビニエンスストアで証明書を取得するには、利用者証明用電子証明書が搭載されたマイナンバーカードと4桁の暗証番号が必要です。マイナンバーカードの新規発行は、当面の間無料ですので、「郵送」、「スマートフォン」、「パソコン」、「マイナンバーカード申請機能付証明写真機」で申請してください。詳細は、マイナンバーカード総合サイト <https://www.kojinbango-card.go.jp/kofushinse/index.html> を参照するか、マイナンバー総合フリーダイヤル 0120-95-0178 に問い合わせください。

### 証明書自動交付サービスの終了について

コンビニ交付サービスの開始に伴い、さんだシティカードによる証明書自動交付サービス(市役所や市民センターなど6カ所に設置している証明書自動交付機)は平成30年度に終了する予定です。

証明書自動交付サービス終了後も、さんだシティカードは市役所などの窓口で印鑑登録証明書を取得する際に必要ですので、そのままお持ちください。

問い合わせ＝マイナンバーカードの申請交付については、個人番号カードコールセンター専用ダイヤル(0570-05-2345)

※平日：9時30分～17時30分

休日開庁日：2月12日(日)・3月12日(日)9時30分～17時

## さんだノルディック・ウォーキングフェスタ 2017 in 有馬富士 3月5日(日)開催

市が普及を進めるノルディック・ウォーキングを通して、市の魅力に触れる初のイベントとして、3月5日県立有馬富士公園でノルディック・ウォーキングフェスタを開催します。

スタート前には、市スポーツ推進委員による講習会があり、ポールの無料貸し出しもありますので、初めての人も気軽に参加ください。

また、参加記念品や完歩証の配布、ゴール後には、あたたかいぜんざいの振る舞いもあります。

皆さんも優美な自然に囲まれた有馬富士公園を舞台に、健康づくりや仲間づくりを楽しみませんか。

日時＝3月5日(日)10時30分開会～13時終了予定

※雨天決行、荒天中止

場所＝有馬富士公園ウォーキングコース

選択コース＝①初心者コース(2.3km)または②健脚コース(4.7km)

定員・対象＝2月1日(水)受付開始の先着100人で、上記①または②のコースを完歩できる人 ※小学生以下は保護者同伴

参加費＝1人につき500円

その他＝①イベント当日は、13時30分まで虫尾方面から有馬富士森林公園(芝生広場)への車両乗り入れはできません。

②新三田駅バスロータリーから9時15分発の無料バスを運行します。

③くわしくは、公式ホームページ(<http://sandanordic.org/>)をご覧ください。申込書がダウンロードできます。

申し込み＝公式ホームページや市内の公共施設で配付する参加申込書に記入し、下記までファクス、eメール、郵送、窓口のいずれかで提出。申し込み後に事務局から郵便振替用紙を送付しますので、2月21日までに入金ください。※振り込み手数料は参加者負担

問い合わせ＝〒669-1595 三輪 2-1-1 文化スポーツ課内さんだノルディック・ウォーキングフェスタ実行委員会事務局(559-5022 FAX 563-7776 eメール [bunkasports@city.sanda.lg.jp](mailto:bunkasports@city.sanda.lg.jp))



ノルディック・ウォーキングは、北欧が発祥。両手に持ったポールの使い方によって運動強度を調整でき、全身運動による健康増進やダイエット、介護予防からトレーニングまで各自の目的に応じたさまざまな応用などすぐれた特性があります。

## 市長の「ほっとトーク」

森のひと言



三田市長 森 哲男

### 若者が集うまち三田へ

昨年12月21日に市内の大学・短大で学んでいる学生の皆さんから、市のまちづくりについて3つの素晴らしい提案をいただきました。また、1月29日には第2回高校生議会の場で、18人の高校生から、市のまちづくりに若者らしい率直な質問・提案をいただきました。  
私は、若者がまちづくりに関わってもらう意義は、3つあると考えています。  
第一は、未来の三田の主役は今の若者や子どもたちです。彼らには、三田の未来に向けたまちづくりに意見を言う権利とともに責任があります。  
第二に、若者たちには「成熟した民主主義」の担い手として地方自治に関わり、自治会や消防団など地域のさまざまな活動にも理解を深め、将来の地域活動の担い手として育ててもらいたいと願っています。  
第三に、若者、特に三田で学ぶまたは、三田から学校に通う学生がまちに多く集うことで、三田のまちは活性化することでしょう。学生の中には市外に住む人もいます。通学途中の三田の街角で友達と語り合ったり、市内のさまざまなイベントに参加するだけでも、三田のまちを元気にしてくれます。

たとえ、学生時代の2年または4年間の市内滞在であっても、常に新しい風を届けてくれますし、三田でいい思い出を作ってもらえれば、「三田ファン」になっても構いません。ファンが増えれば、時間はかかるかもしれませんが、三田に住みたい、働きたいと思う人も増えてくるでしょう。  
現在、学生の皆さんから「街角の学生カフェ」づくりや「学生会議」の創設、「学生のまちづくり推進条例」などさまざまなアイデアが提案されています。来年度の市予算や市役所での支援体制強化など、若者たちの熱いメッセージにしっかりと応えていくつもりです。市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。